

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 田園調布学園中等部高等部
種別 中学校 高等学校
住所 〒158-8512
東京都世田谷区東玉川 2-21-8
E-mail : tyamada@chofu.ed.jp
Website : http://www.chofu.ed.jp
生徒数：女子（中等部）624名 女子（高等部）594名
合計 1218名
生徒の年齢 13歳～17歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 国際理解
- 平和・人権
- 環境
- エネルギー

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

教科での取り組み（毎年の継続事項）

保健体育

中等部2年 後期 環境学習

地球環境についての学習をおこなったが、さらに身近な環境問題への意識を高めるため、カーボンオフセットについて授業で取り組んで見ることを検討中である。

宿泊行事での取り組み（毎年の継続事項）

中等部1年

体験学習（志賀高原）実施期間

事前学習として

5月からHRの時間を使い、志賀高原や長野県について班ごとに動物・植物・気象・地質など様々な角度からその自然環境について調べ学習に取り組みせ、理解を深めた。地理の授業で志賀高原の地形を扱い、その成立過程について理解を深めた。

実施体験

天候に恵まれ、計画通りに進行できた。草津白根山一帯、横手山、高山帯でしかみられない草花などを見学し、事前学習の成果とつなげることができた。できなかった。宿舎では引率の荒川副教頭より植物に関する講義を新たに盛り込み、志賀高原の自然観察のポイントについて説明をおこなった。翌日の池めぐりでは、志賀高原の自然環境について観察しながら、火山活動によって生じた大小さまざまな湖や池、湿原をめぐり、そこに生息する動植物を目にすることができた。

志賀高原での生活は、日常の生活では出来ない自然環境に身をおくことで、さまざまな体験を積み重ねることができた。池めぐりの山道を歩くことで、達成感・満足感を得られた様子もうかがえた。また、入学後3ヶ月を経て、慣れない環境での新しい仲間との生活は、深い人間関係を築いてゆく良い機会になっている。今後もこの行事の中で、自然に触れるとともに、自然環境保全と人間の営みについて考えるにあたって、貴重な経験である。

生徒会活動での取り組み

環境委員会

①エコキャップ回収運動

リサイクルルームで回収したペットボトルキャップをまとめ、NPO法人「エコキャップ推進協会E C O C A P」へ送っている。今年度は6袋（約50kg）を回収することができた。

②校内清掃用具点検 年2回実施

前期と後期に1回ずつ実施して、過不足の調整をおこなった。また、傷みのあるものは交換し、清掃環境を整えている。清掃用具について、生徒の清掃意識を高めるために、新たな検討をおこなうこともできた。当たり前の環境が続くのではなく、自分たちで変えられる部分に気付いたらば行動に移すということが次第にできるようになってきた。

③校内のゴミ分別確認

日常のゴミ分別状況の確認は継続しておこなっている。

④なでしこ祭（文化祭）でのゴミ回収・分別

2日間の文化祭で排出されるゴミの分別・回収について、委員が率先して動き、大きな混乱無く終了することができた。

⑤外部イベントへの参加

今年度はイベントとして参加はしなかった。
ユネスコスクール加盟校との交流企画を実現させることができた。

日常の取り組みとして

落ち葉はき

捨我精進の精神を常に抱き、周辺地域と共に心地よく生活が送れることを考え、学校生活の充実と環境美化の推進を目的とする。

平成26年11月17日(月)～12月18日(木)通常清掃時実施

1回の活動生徒数を10名程度とし、担任の指示・指導により、学校周り及び西村庄平記念広場を重点に実施。

[実施分担]

中等部1年生・・・11月17日(月)～11月27日(木)

中等部2年生・・・11月28日(金)～12月4日(木)

中等部3年生・・・12月5日(月)～12月18日(木)

*実施期間を落ち葉の時期を考慮して設定したので、全般的に落ち葉掃きらしい条件が得られた。期間については、行事との兼ね合いもあるが、その年の天候状況に流動的に対応するのが望ましい。

朝掃除

本校教育理念の「捨我精進」の精神を実践すべく、周辺地域に対しても、生徒たち自身も日々の生活を気持ちよく過ごすために環境美化に努め、環境教育の一環とする。

- ・外掃除…校舎の周り、正門・通用口など出入り口、昇降口
- ・内掃除…校舎1階の出入り口、プラザ、生徒ラウンジ
- ・外掃除…竹ぼうきなどを使い、敷地内、公開空地、歩道そして近隣住宅の道路ゴミや落ち葉を集める。
- ・内掃除…扉や窓の雑巾がけ、生徒ラウンジのテーブルの布巾がけ、プラザのモップがけ、カーペットに付着したわたぼこり等を掃除機できれいにし、廊下をほうきで清掃する。

各クラス分担

4月 8日(火)～ 5月31日(土) い組

6月 2日(月)～ 7月28日(月) ろ組

9月 6日(土)～10月31日(金) は組

11月4日(火)～12月22日(月) に組

1月 8日(木)～ 3月20日(金) ほ組

※外掃除・内掃除とも、7:50清掃区域に集合する。

※終了時刻は8:15とする。

- ・通常の清掃活動同様、自主的に行っている。
- ・外掃除では、昇降口や玄関、校舎の周りをきれいにするにあたり責任感を持って、積極的に取り組んだ。
- ・内掃除では、登校する生徒や教員に挨拶をし、積極的に取り組んだ。

教員の取り組み

本校では教職員でEMS委員会(田園調布学園中等部高等部環境マネジメントシステム)をつくり、環境への意識の向上に努めている。

- ①職場環境の改善・・・校務センターの整理整頓、美化推進
- ②OA用紙の使用量削減と電気使用量の低減

